

地震発生後、津波は最短2分で来襲！揺れが収まったら、すぐに高台へ避難を!!

津波発生の恐れがある場合はいち早い避難行動が重要です。いざという時のために各エリアごとの安全な避難方法を確認しておきましょう。

西海岸エリア

手付かずの大自然が広がる西海岸エリア。海底火山からの噴出物が海底に積み重なり、盛り上がりながら波や風雨に閉られて現在の姿になりました。



避難経路

- 高台に登る道が、ソデ浜、荒崎、田下にあります。
- 高台に通じる道まで距離がある場合は、灯台や近くの高い場所を目指してすぐに避難してください。

注意点

- 歩道は、足元が悪い箇所も多いので、十分注意して避難してください。
- 避難中は、事前に高台に繋がる経路を確認しておくことが大切です。
- 防災無線が聞こえないエリアです。地震が収まったら、すぐに高い場所へ避難してください。




海水浴場エリア

小松浜海水浴場は、透明度抜群の海で、入江のため波も穏やかです。



避難経路

- 海水浴場の裏に大きな橋(農道)があります。橋は高台に繋がっているため、登って高台を目指してください。


注意点

- 避難する際は、足元に注意し、靴やマリンシューズを履いて避難してください。



夜間の注意点

- 島の夜は暗い！夜間は明かりが少なく、足元が見えにくいので注意してください。
- 懐中電灯を持って避難！宿泊施設にチェックインしたら、どこに懐中電灯があるか確認しましょう。懐中電灯を持参している人は、充電等、わかりやすい場所に置いておきましょう。
- 靴を履いて避難！絶対に裸足で避難せず、必ず靴を履いて避難しましょう。



定期船発着所・宿泊施設・住宅エリア

定期船発着所、宿泊施設、住宅が広がるエリア。自転車無料貸出所、診療所、郵便局、市とびしま総合センターなどこのエリアにあります。



避難経路

- 避難路が14本あります。地図の赤線が避難路の位置です。避難路の入り口には、この看板があります。日中に、この地図を見ながら、避難路の場所を確認しておくとう安心です。

注意点

- 避難する際は、大事な物を守るために、屋根等からの落下物に注意してください。
- 避難の時には、側溝や落下物など、足元にも注意してください。

● 飛島診療所

- 常勤医師はいませんが、看護婦が常駐しています。
- 必要場合は、医師による遠隔テレビ診療を行う場合があります。
- 救命措置が必要な場合、ドクターヘリなどで救急搬送をする場合があります。



● 山グラウンド

- 高台には、山グラウンドと呼ばれる避難場所があります。
- グラウンドには、避難小屋・トイレが設置されています。
- 避難小屋には、食料や飲料水などが備蓄されています。
- 津波で島内が大きな被害を受けた時には、救助が来るまで数日かかる可能性もあるので、発電機、テント、シュラフ等も配備されています。





飛島 津波防災

Tobishima Island TSUNAMI SAFETY TIPS

大切な命を守るために



酒田市総務部危機管理課
監修:東北大学災害科学国際研究所

QRコード一覧



- 津波ハザードマップ
- 定期船とびしま運航状況
- 酒田さんぽ

連絡先一覧

万が一の時のため、事前に携帯電話への登録をお勧めします。

- とびしま総合センター 0234-95-2001
- 飛島診療所 0234-95-2021
- 酒田警察署飛島駐在所 0234-95-2015
- 定期航路飛島連絡所 0234-96-3011



島内の移動手段は？

バスやタクシーがないため、基本的には酒田市で無料で貸し出している自転車(4月1日～10月31日)または徒歩での移動になります。一部の旅館や民宿では送迎も行っています。また、有料になりますが、定期船で自家用車を運搬することもできます。



島内でキャンプできるの？

昭和38年に島全域が国立公園に指定されたため、島内でのキャンプはできません。飛島の自然を満喫した後は、旅館や民宿をご利用ください。



飛島の楽しみ方は？

夏は海水浴やシュノーケリングを楽しめます。また、釣りやサイクリング、観光スポット巡りでは、季節ごとに変わる飛島の魅力を感じることができます。地魚を使った旅館や民宿の料理も楽しみの一つです。

何が釣れるの？

防波堤や港からは主にアジ、メバルなどが釣れます。船釣りではマダイやクロダイなど大型の魚を釣ることができます。

携帯電話はどこでもちゃんと使えますか？

電波が通じない場所があり、携帯電話事業者によって、通話・通信できる場所が異なります。詳しくは、携帯電話事業者各社のエリアマップを確認してください。



飛島 Q & A

飛島の歴史は古く、島の生活は海とともにありました。

島には緩やかな時が流れ、日々の喧騒を忘れさせてくれます。

魅力溢れる自然、豊かな恵みは私たちがきっと癒してくれるはずですよ。

島内一周にかかる時間は？

島の地形から、外周(約10km)を回ることはできません。定期船発着所をスタートして車道を東へ進み、とびしま総合センター～農免農道(山の上の車道)～海水浴場を通過し、定期船発着所に戻ってくるまで(約6km)、徒歩で80分、自転車で40分程度です。